

## 人権政策部人権政策課

### 1 学校における人権教育の推進

#### (1) 米子市人権教育推進プランの進行管理

ア 米子市人権教育推進会議の開催 3月2日

イ 米子市人権教育推進会議課題別部会の開催 2月14日～2月20日 8回

#### (2) 研究指定校の実践

ア 第30回米子市中学校区人権教育研究発表会

(教育委員会、米子市人権・同和教育推進協議会共催)

期 日 平成18年11月21日(火)

目 的 保・幼・小・中学校の一貫した人権教育の実践を通し、研修することを目的とする。

対象校区 尚徳中学校区 保育園・幼稚園・小学校・中学校

主 題 「自ら学び、たくましく生きる子どもの育成 ～豊かな感性、確かな人権感覚、確かな学力～」

各校・園及びPTA分科会テーマ(園は公開保育担当園のみ)

成実保育園 「友だちを大切に、認め合う仲間づくりをめざして」

東みずほ幼稚園 「あたたかな心で助け合い 共に育ち合う仲間づくりをめざして」

成実小学校 「自尊感情を高め、たくましく生きる児童育成のための教育活動の工夫改善  
～個に応じた支援を通して児童一人一人のよさをのばす活動を～」

尚徳小学校 「主体的に自分の思いや考えを伝え合い、ともに学ぶ喜びを感じ合える子どもの育成」

五千石小学校 「心豊かでたくましい五千石の子どもの育成

～思いがつながる・仲間とつながる・地域でつながる～

尚徳中学校 「人権を大切に、自分に誇りを持って生きる人間の育成 ～語り、つながる仲間づくり～」

PTA部会 「人権の街づくり ～15年間で育つ連携をめざして～」

#### (3) 学校教育における人権教育の研究及び活動の推進

ア 米子市小・中・養護学校人権教育主任研究協議会 2回

イ 米子市同和地区関係校人権教育主任研究協議会 6回

ウ 米子市小・中・養護学校人権教育研修講座

・対象別研修 4回 延べ189人参加

学校管理職対象、人権教育主任対象、講師対象、学校図書職員対象

・課題別研修 8回 延べ328人参加

同和問題、外国人、障がい者、男女共生、子ども、高齢者、健康や性、情報

エ 学校計画訪問 延べ43校

オ 学習相談等

校内研修への指導助言

児童生徒のフィールドワークへの対応

#### (4) 調査研究

ア 児童生徒人権問題意識調査

イ 人権教育推進状況調査

ウ 外国人児童生徒等に関する状況調査

エ 学校教育訪問調査研究

1名の教員を県外に派遣 高槻市立五領小学校

オ 外国人児童生徒等教育的支援策に関する研究

(5) 指導資料の作成・活用

ア 人権作文・標語集「よなご」第28集発刊 800部 作文42 標語296掲載

イ 同和教育資料「あおぞら」に関する情報収集・提供

ウ 人権教育保護者啓発資料「まごころ」発刊 1,500部

(6) 児童生徒及び幼児の活動

ア 夏休み子ども人権講座 8月1日～4日 4講座 延べ37人参加

イ たくましくはばたく力育成事業 3小学校区(4地区)

学力向上、親子読み聞かせ、育成教室

ウ 米子市同和地区児童交流会 7月21日

エ 米子市同和地区生徒交流会 7月26日

オ 同和地区高校生研修

・奨学金支給時における研修 延べ15回

・夏季一泊研修 8月10日～11日

カ なかよし交流会(外国にルーツをもつ子どもたちの交流会) 7月31日

2 社会における人権教育の推進

(1) 市民啓発

ア 中学校区人権問題講演会 美保、福米、尚徳中学校区

イ 社会教育指導者養成

(ア) PTA人権教育研修講座 年3回開催 延べ660人参加

(イ) 人権教育地区推進員研修講座 年5回開催(米子市人権教育地区推進員54人を対象)

ウ 中学校区社会・学校人権教育関係者連絡協議会 11中学校区

エ 社会教育団体の研修

オ 同和地区社会教育振興事業

カ 人権教育地域懇談会開催 市内27地区人権・同和教育推進協議会に委託 年86回開催

(2) 企業啓発

企業啓発指導員を配置し、企業等に対し人権問題に関する講演や研修体制の指導・助言を行い人権問題啓発を行った。

ア 講演実施回数 延べ 58回

(3) 社会を明るくする運動

ア 開始式 7月3日(月) ふれあいの里大会議室

イ 少年育成各種スポーツ大会

剣道大会6月18日 卓球大会7月26日 ソフトテニス大会8月2日 野球大会8月5、6日

ウ 施設訪問 7月24日 美保学園、喜多原学園

3 人権情報センター

(1) 利用状況

ア 図書資料貸出総数 540冊(蔵書総数 3,814冊)

イ 啓発ビデオテープ貸出総数 409本 (所蔵総数 379本)

ウ フィールドワークの受入れ 22件

(2) 人権に関する情報の収集

ア 収集・購入した図書資料 230冊

イ 収集・購入した啓発ビデオテープ 30本

ウ 県内外の人権啓発機関誌・資料等

(3) 人権に関する情報の提供

ア 「よなごの人権フォーラム ‘06」の開催

期日 平成18年12月3日

場所 米子コンベンションセンター 小ホール

イ 「市民向け人権学習講座」の開催

期日 平成18年6月6日、7月11日、8月1日、9月12日、10月10日、11月7日 (計6回)

ウ 人権情報センター機関紙「ひゅーまんらいつ」発行 (月1回)

エ 「ホームページ」による情報提供

4 推進団体の育成支援

(1) 米子市人権・同和教育推進協議会

ア 米子市補助金 4,920,000円

イ 主な事業

(ア) 第32回米子市人権・同和教育研究集会

期日 平成19年1月18日 (木)

会場 米子コンベンションセンターほか

テーマ 「みんなで差別をなくし幸せな社会を実現しよう」

午前 全体会・意見発表 2人

・記念講演 「身近にある人権 必要とされている喜び」

講師 大分県佐伯市観光大使 矢野大和氏

午後 分科会・8分科会

参加者 800人

(イ) 研修会、研究集会派遣事業

第31回 部落解放・人権確立鳥取県研究集会 参加

期間 平成18年8月8日～9日 (米子コンベンションセンタービッグシップほか13会場)

(ウ) 研究委託事業

| 部会名     | 事業名             | 備考                         |
|---------|-----------------|----------------------------|
| 就学前教育部会 | 就学前人権・同和教育研究委託  | 保育園に研究委託                   |
| 学校教育部会  | 中学校区人権・同和教育研究委託 | 研究発表校区以外の9中学校区             |
| 社会教育部会  | 広報発行委託          | 人権・同和教育広報発行<br>9地区同推協      |
|         | P T A研究委託       | 2中学校区P T Aに人権・同和教育研究<br>委託 |

(エ) 同和地区進出学習会

5小学校（6地区）、3中学校（5地区） 指導者 延べ713人

目的 同和地区児童生徒の自らが置かれている社会的立場の自覚を深め、学力及び生活力の向上と適正な進路指導を行うことを目的とする。

(2) 米子市同和問題企業連絡会

同和問題の解決の上で企業がその社会的責任の重要性を自覚し、同和問題を自らの問題として主体的、自主的にその解決に向けて取り組んでいくことを目的として平成8年11月に設立された「米子市同和問題企業連絡会」に対する補助金の交付等運営支援を行った。

ア 米子市補助金 730,000円

イ 会員数 73社（平成19年3月31日現在）

ウ 主な事業内容 定期総会、幹事会（5回）トップ及び担当者研修会、新規採用者研修会（2回）、県内外の各種集会・研修会への参加等

5 同和対策関係

(1) 隣保館事業

福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティーセンターとして、生活上の各種相談や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行った。

ア 啓発・広報活動（隣保館講座の開催、隣保館だよりの発行等）

イ 相談事業（生活上の相談や人権に関わる相談への助言、指導）

ウ 地域交流事業（各種教養講座、学校やPTAとの交流会の開催等）

エ 地域福祉事業（健康講座、高齢者料理教室の開催等）

オ 識字・日本語教室（フィリピンやタイなどの出身の方々を対象とした日本語読み書き教室の実施）

(2) 生活相談員事業

地域住民の生活上の相談に応じ、必要な助言及び指導を行なうとともに、関係機関との連携を持ちながら地域住民の福祉の増進を図った。

ア 相談件数（延べ件数） 395件

イ 活動実績 家庭訪問 209回

関係機関との調整 620回

(3) 地区会館運営事業

隣保事業に準じた事業を行い、地域住民の福祉の向上を図った。

(4) 米子市同和対策高等学校等進学奨励金の給付

市内に住所を有する同和地区関係者の子ども等で、高等学校、専修学校、大学等に進学する能力を有しながら経済的に修学が困難な者に対して進学奨励金を給付した。

高等学校 月額 8,000円 20人に給付

専修学校 月額 18,000円 5人に給付

大学 月額 18,000円 8人に給付

(5) 住宅新築資金等貸付事業に係る貸付金の償還事業

昭和41年度から平成8年度にかけて行った住宅改修資金、宅地取得資金、住宅新築資金貸付事業の償還事務を行った。

(6) 差別事象への対応

差別事象発生時には迅速かつ適切な対応を行った。

(7) 米子市同和事業推進協議会への支援

市内の同和地区住民によって組織された同協議会が行う同和問題の早期解決及び同和地区住民の社会的地位の向上を図るために実施する事業について支援した。

米子市補助金 2,539,908円

(8) 同和地区実態調査報告書の作成

平成17年度に実施した米子市同和地区実態調査の結果について検討し、報告書を作成した。

6 拉致問題関係

平成18年11月20日、和田町出身の松本京子さんが17人目の北朝鮮による拉致被害者として政府認定された。また、市内には松本さん以外にも古都瑞子さん、矢倉富康さんが消息不明で拉致された疑いが持たれている。松本さんの早期帰国を含めた拉致問題の早期解決に向け、国への要望と世論を盛り上げるための市民啓発を行った。

(1) 国への要望書提出 平成18年12月4日

(2) 「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」中の街頭啓発

鳥取県とともに市内2ヶ所で行った。

(3) ミニシンポジウム開催

鳥取県人権協働ネットワーク「ミニシンポジウム」実施事業

平成19年2月10日(土) 米子コンベンションセンター小ホール